

八王子市の人口の現状

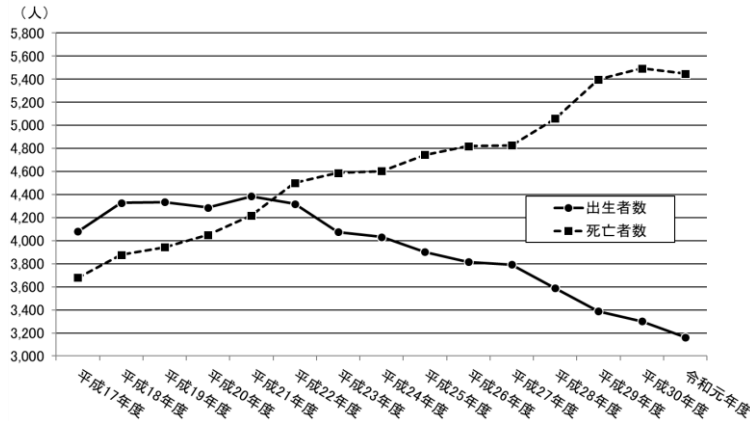
資料 1

1 住民基本台帳に基づく人口の増減

(1) 自然動態

八王子市では、平成 22 年度（2010 年度）に死亡者数が出生者数を上回る「自然減」へと転じて以降、その差は年々大きくなっており、令和元年度（2019 年度）には、出生者が 3,162 人、死亡者が 5,447 人で、2,285 人の自然減となった。【図表 1】

【図表 1】 出生者数・死亡者数の推移



各年度 4 月 1 日～3 月 31 日
で集計

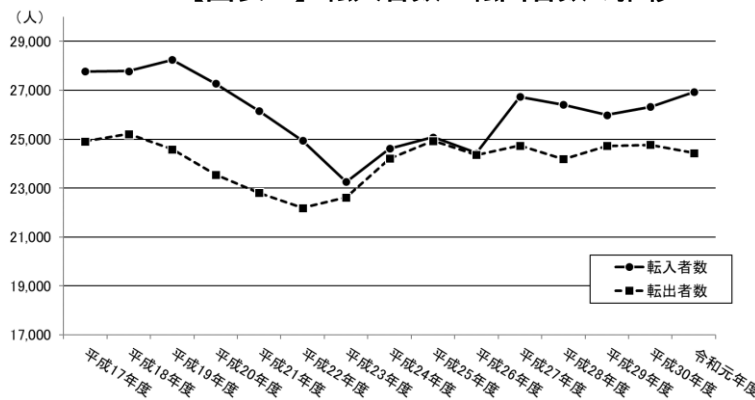
出典：八王子市 HP 「住民基本台帳 人口の増減」

(2) 社会動態

八王子市の転入、転出による社会動態は、平成 22 年度（2010 年度）までは転入者数が転出者数を上回る「社会増」が続いていたが、平成 23 年度（2011 年度）にその差が大きく減少し、平成 26 年度（2014 年度）には転入者数と転出者数がほぼ均衡した。

その後、平成 27 年度（2015 年度）から再び転入者数が転出者数を上回っており、令和元年度（2019 年度）は、2,500 人の社会増となっている。【図表 2】

【図表 2】 転入者数・転出者数の推移



各年度 4 月 1 日～3 月 31 日
で集計

出典：八王子市 HP 「住民基本台帳 人口の増減」

※平成 24 年（2012 年）の住民基本台帳法一部改正により、住民基本台帳人口に外国人住民も含まれることになったが、人口増減の経年比較をするために、平成 24 年度（2012 年度）の転入者数から、増加となった外国人住民の人口（8,932 人）を除いている。

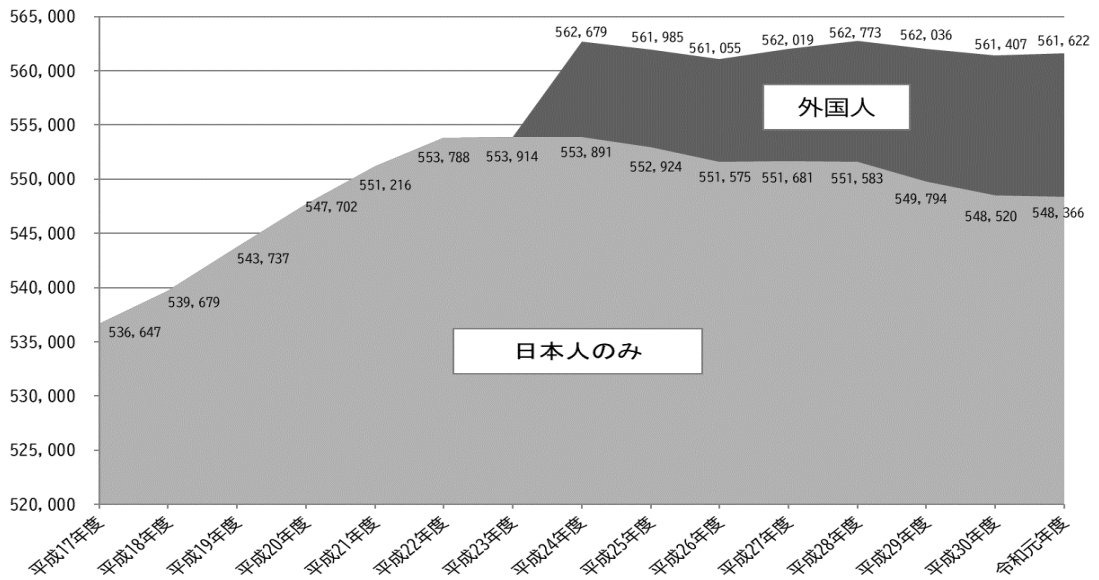
2. 人口の推移

(1) 住民基本台帳人口

住民基本台帳における本市の総人口は、平成 23 年度（2011 年度）まで増加が続いたが、平成 24 年度（2012 年度）からはほぼ横ばいに推移している。ただし、外国人を除いた日本人のみの人口は、平成 23 年度（2011 年度）をピークに減少傾向が続いている。【図表 3】

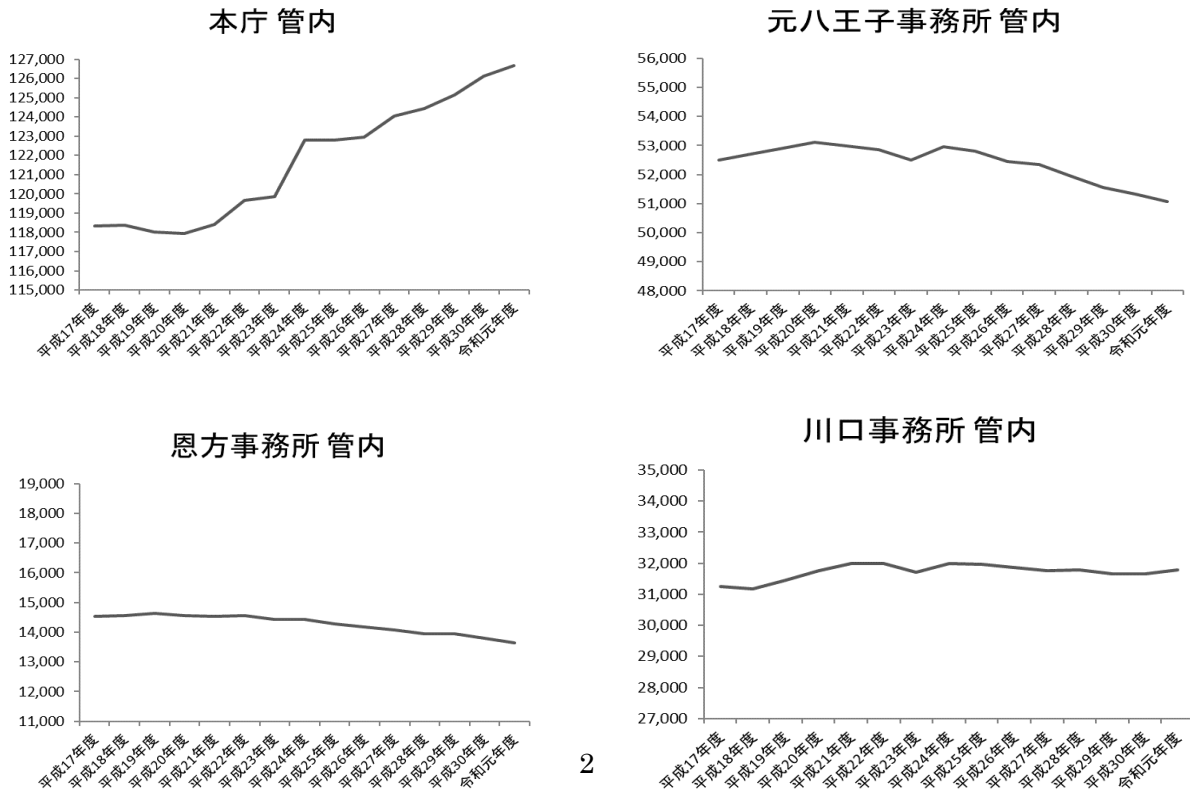
なお、市内各地域（各事務所管内）の人口の推移（各年度 3 月 31 日時点）を参考に示す。【図表 4】

【図表 3】市内全体の人口の推移（住民基本台帳）

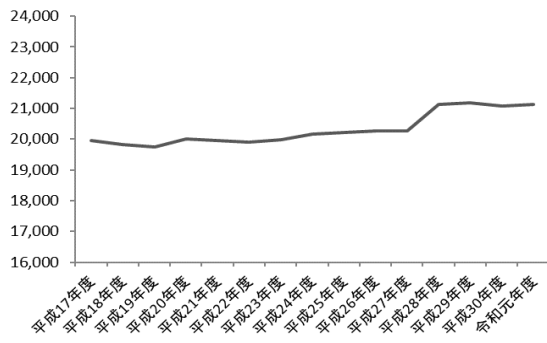


※住民基本台帳法改正により、平成 24 年度（2012 年度）以降は、住民基本台帳人口に外国人住民が含まれている。

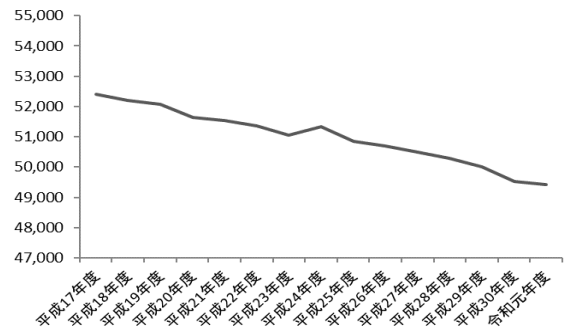
【図表 4】市内各地域の人口の推移（住民基本台帳）



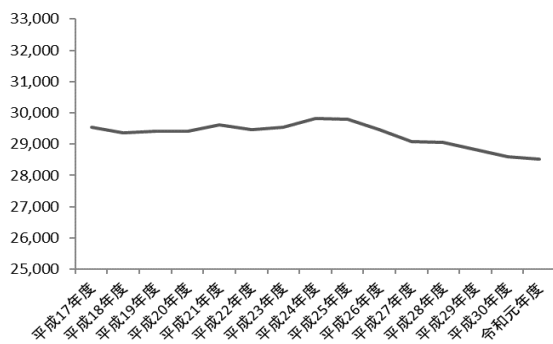
浅川事務所管内



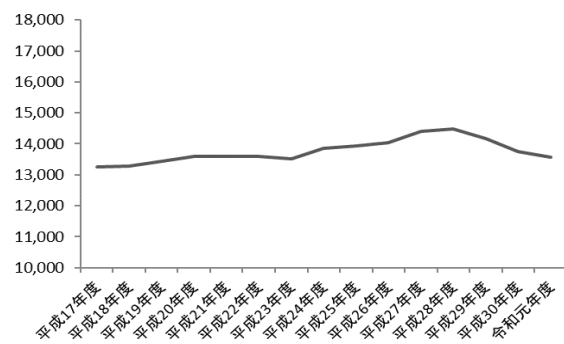
横山事務所管内



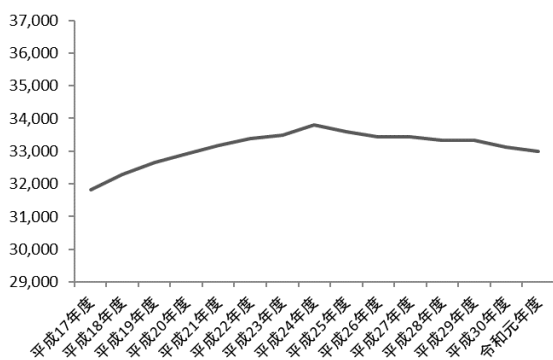
館事務所管内



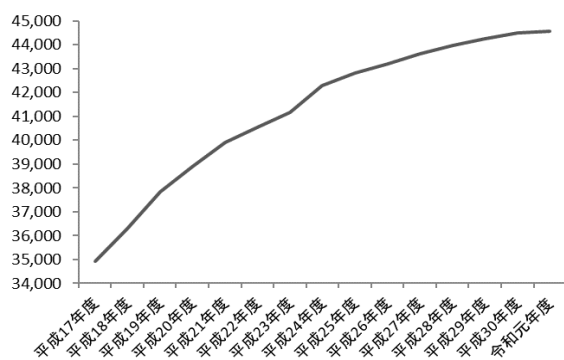
加住事務所管内



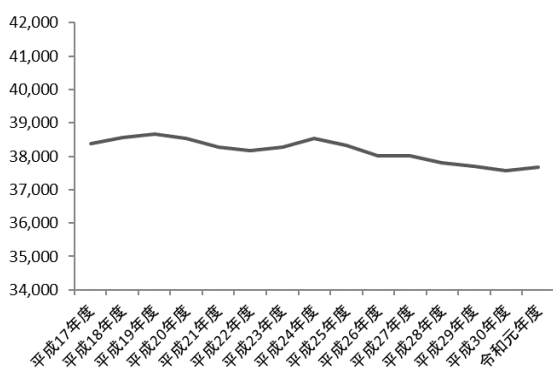
石川事務所管内



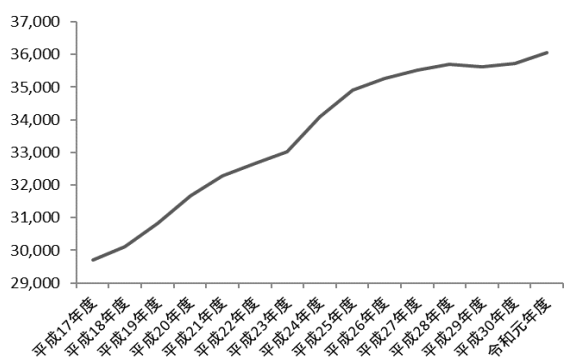
由井事務所管内



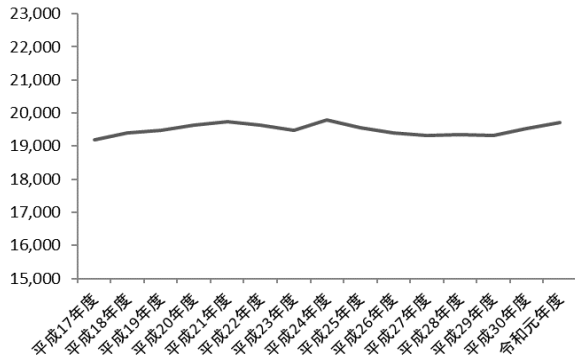
北野事務所管内



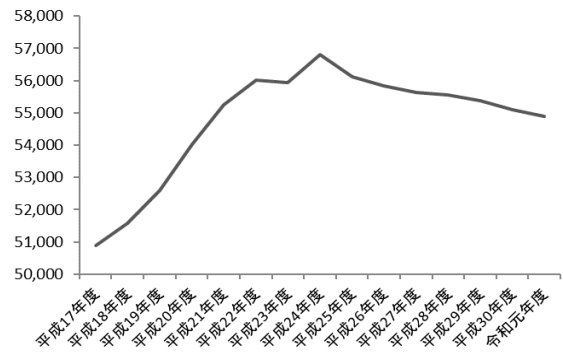
由木事務所管内



由木東事務所管内



南大沢事務所管内

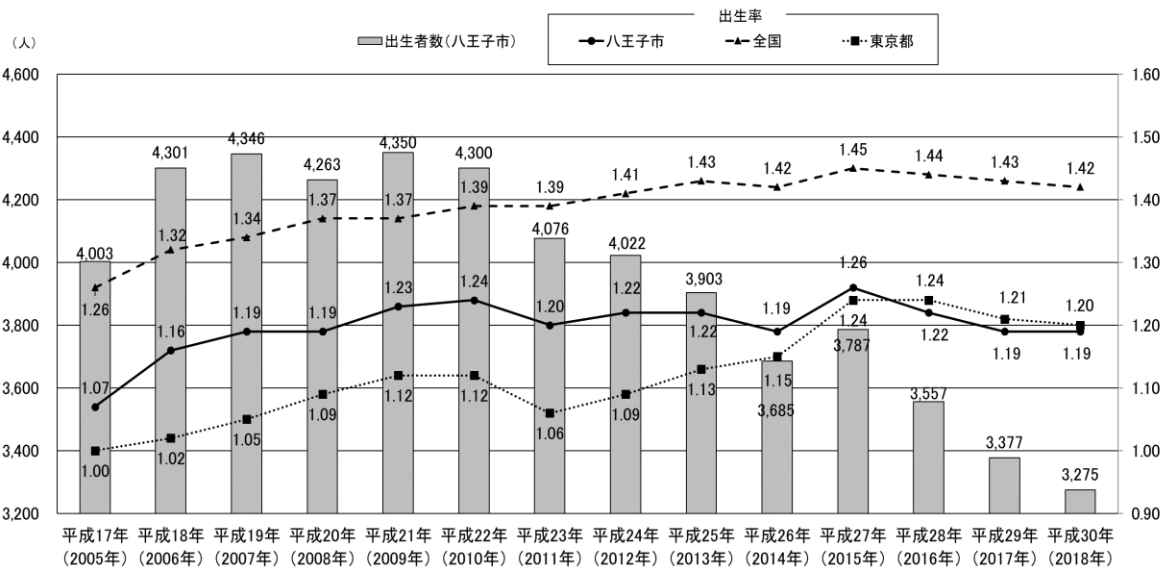


(2) 出生率と出生者数

出生率の推移は、平成17年（2005年）から平成22年（2010年）にかけては、国と同様に上昇傾向にあったが、以降は横ばいで推移している。

また、出生者数は、増減を繰り返しながら推移していたものの、平成21年（2009年）以降は減少傾向が続き、平成27年（2015年）には一旦増加したが、平成30年（2018年）には3,275人と平成17年（2005年）以降で最小となっている。【図表5】

【図表5】出生率と出生者数の推移



出典：東京都福祉保健局 平成30年人口動態統計

※ 令和元年（2019年）分は未公開